

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 130 号 2009.2.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

自然のおにぎりパワーでスッキリ！

足立区 増田範子



2月8日、中学3年の娘が熱を出し、何度か吐いて、食欲もなく、その日は自然のほうじ茶だけを飲んで休みました。翌朝、熱も下がり、石川県の森さんのお米で作ったおにぎりを食べ、吐くこともなく、少し元気になりました。そしてその夜、下痢をしました。するとみるみるうちに元気になり、すっきりした感じで表情も明るくなりました。

改めて、自然農法の作物は、弱っている身体にパワーを与えてくれる食べ物だと思いました。本当に感謝しています。

私や子供の身体には、不自然なものがたくさん入っていますから、それを身体の外に出す体力が必要です。そのために、自然農法の作物を、できるだけ一品でも多く食卓に出せるように心掛けていきたいです。早速2月10日も、八王子で森さんのお米を娘のために購入しました。本人も、高校入試直前に身体がすっきりして、とても感謝しています。

生産者紹介！ 石川県の森さん



森真吾さん

上の記事に載っている森さんのお米「鶴の舞」を TOREK に紹介して、今年で2年目になりますが、まだまだ森さんのことを、よく知らない方も多いと思います。

森さんとの出会いは、私が一昨年、福井県でお米作りをしていたときでした。森さんは当時、すでに3反8畝の田んぼで、無施肥無農薬栽培でお米を作っていました。森さんの田んぼは石川県にあり、福井からは車で2時間ほどのところでしたが、お互い行き来をし、色々な話をする中で、深く交流するようになりました。森さんはもともと公務員で、機械にも明るく、休日は自動車工場でバイトをしていたほどなので、そのことが今の農業実践にもかなり役立っているようです。



そんな森さんは、仕事をやめ、治療士として人のためになることを目指しますが、指圧やマッサージよりも、人の健康に一番大切なのは「食」だと感じ、その中でも日本人の主食である「米」しかない決心。平成13年より6畝の田んぼを始めます。

平成18年からは、福井の富田善嗣さんの勧めもあり、無施肥を一部始めます。去年は作付け2町2反のうち、1町1反を無施肥で行いました。残りは有機農法です。普段は農産会社で米作りの仕事をしながら、ご自分の田んぼをやっています。看護師の奥様と二人三脚で取り組まれています。

森さんは今、無施肥とともに、草をできるだけ生やさぬ工夫をすることで、除草に手をかけず、もちろん除草剤も使用しない方法に取り組んでいます。それは、できるだけ土を細かくせず(昔、トラクターなどないころは土を細かくしていなかった)、均平にし、水を張った状態で田植えをする方法です。まだ完成されていないようです。もうひとつ問題は、水没しないだけの大きな苗を無施肥で作るという点です。去年は途中まで無施肥でしたが、思うように大きくなり、やむなく有機肥料を使用しました。今年は工夫を凝らし、無施肥育苗にチャレンジするそうです。

昨年、森さんが初めて作った「しわもち」というもち米は、とても大柄な稲で、草に負けにくく良かったようです。羽二重もちのように柔らかく、大変人気で、すでに売り切れてしまいました。

またコシヒカリは予想より豊作で、現在30俵ほどあるそうです。宅配での販売もしています。ぜひ皆さんも森さんのお米を召し上がってみてください。とてもおいしいです。(編集部 関谷)



宅配は通常1万円以上購入で送料無料ですが、TOREKでは8千円以上で送料無料にさせていただきます！

稲作交流会、八王子にて開催

2月8日、八王子で稲作交流会が開催され、各地から無施肥で稲作を行う生産者が集まり、意見交換を行いました。

特に昨年から稲作を始めた2名の20代の青年の体験談は新鮮でしたし、田んぼの一部を無施肥に切り替えた石川県の生産者の報告、また数年間実施している方々の品種の選択や育苗の問題、除草の工夫などの話もあり、大変勉強になりました。さらに、木島平や鎌ヶ谷の昨年の良結果の発表から、改めて、土への愛情の大切さを学びました。

そして今年度、各生産者の新たな稲作が始動します！



農産展にショウガ出品！

練馬区 吉野紀美子



昨年11月3日の農産展に、ビギナーとしてショウガを出品しました。といっても、皆さんの素晴らしい作品のなかで、小さいショウガで恥ずかしかったです。

どうして出品しようと思ったかと申しますと、昨年夏ごろ、「この10年間で自然農法を実践され、農産展に出品された方が10人しか増えていません」と聞いたことからです。もっと増えていると思っていたところが、10人しか増えてないんだと思いつつ、数日後、また同じ話を伺ったときに、ハッとしました。実は私も、この10年の間に畑を借りて、ジャガイモ、タマネギを農産展に出品しながら、その後、畑をやめ、出品しなくなってしまった1人だったからです。

とても申し訳なく思い、重い重い腰を上げて、家の敷地の一角でまた取り組むことにしました。ただ、そこでも以前作物を作りましたが、あっという間にドクダミ畑になり、挫折したことがありました。しかし、今回は真剣にドクダミ一掃に取り組み、きれいにしました。そして、キュウリの苗を植えたのですが、実がついてきたところで、世話ができなくて、だめになってしまい、作物に愛情をかけてあげることができなかった自分を反省しました。

そんなときに自然農法頒布会があり、今日明日にでも、販売されている西山さんのショウガの芽が出ている所を植えたら、農産展出品に間に合うと聞き、何かしないかと思ひ、ショウガをその日に植えました。とてもかわいく、でも土の中で育っていつてくれるのか心配でした。

10月末、掘ってみて、小さいながらも出来ていたショウガに感動し、スタッフの方にお見せすると、展示しても大丈夫とのこと、無事、出品することができました。農産展の帰り道、知人から「自然農法を続けてってね！」と言われ、力がわきました。

自然農法の継続とともに、そのすばらしさを伝えていきたいです。



お知らせ 自然農法頒布会 3月17日(火) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切次第終了)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

3月3日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- きじま平自然農産：きなこ、煮豆、納豆、干し黒豆、小豆、きのこめし
- 市川生産グループ：煎茶、みかんジュース
- 長柄山自然農園：卵、ダイコン、コマツナ、つぼみ菜、シイタケ
- 飯塚農園：みそ(500g 1,100円)
- 中島農園：フキノトウ、ハウレンソウ、自然薯
- よしたい農園：白米 富田善嗣さん：白米
- ジョリフィーユ：ひなまつりクッキー、生ショコラケーキ、マドレーヌ、プリン



お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp

TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>